

JSET

No.158

2008-06-01

日本教育工学会ニューズレター

JAPAN SOCIETY FOR EDUCATIONAL TECHNOLOGY

事務局：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル

電話 / FAX : 03-5740-9505 e-mail : 最後のページ参照

日本教育工学会ホームページ <http://www.jset.gr.jp/>

ISSN 1340-9913

告 示

下記の要領で第24回通常総会を開催いたします。

正会員には、委任状のハガキを同封しております。当日欠席の場合は、委任状にご記入の上、記名捺印して6月18日（水）までに、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 2008年6月21日（土）12:00～13:00
2. 会場 東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館デジタル多目的ホール
東京都目黒区大岡山2-12-1 （東急目黒線・大井町線 大岡山下車 徒歩1分）
3. 総会の議事
 - 1) 第1号議案 2007年度（2007.4.1-2008.3.31）事業報告及び収支決算承認の件
 - 2) 第2号議案 2008年度（2008.4.1-2009.3.31）事業計画案及び収支予算案承認の件

2008年5月10日

日本教育工学会 会長 赤堀侃司

本号目次

第24回通常総会の公示	1	2008年度夏の合宿研究会のご案内（第一報）	6
第1号議案(2007年度事業報告及び収支決算)	2	研究会参加のお誘い	7
第2号議案(2008年度事業計画案及び収支予算案)	4	新入会員／学会日誌等	8
2008年度6月シンポジウムのご案内（最終報）	6		

第1号議案 2007年度事業報告及び収支決算

2007年度に実施した事業は次のとおりである。(事業費13,810,840円)

(1) 機関誌等 (10,237,522円)

1. 「日本教育工学会論文誌」第31巻1号～4号, 増刊号(ショートレター号), 及び英文誌第30巻1・2号(合併号)を会員に配付した。(8,885,626円)
2. 「ニューズレター」No. 150～No. 156を刊行し, 会員に配付した。(1,351,896円)

(2) 総会

日本教育工学会第23回通常総会を, 東京工業大学で開催(2007/6/16)した。

(3) 大会

日本教育工学会第23回全国大会を, 早稲田大学で開催(2007/9/22-24)した。
また, 「第23回全国大会講演論文集」を刊行し, 申込者に配布した。

(4) 研究会の開催 (180,503円)

次の研究会を開催し, 「日本教育工学会研究報告集」JSET07-2～JSET07-5, JSET08-1を申込者に配布した。

- ①「地域教育力と情報教育」研究会 (2007/5/19: 北星学園大学)
- ②「授業とメディア」研究会 (2007/7/7: 新潟医療福祉大学)
- ③「デジタルコンテンツの教育活用と授業デザイン」研究会 (2007/10/20: 同志社女子大学)
- ④「高等教育とeラーニング」研究会 (2007/12/22: 熊本大学)
- ⑤「日本語教育と教育工学」研究会 (2008/3/1: 名古屋大学)

(5) 企画委員会 (303,497円)

次のシンポジウム及び研修講座(合宿研究会)を開催した。

a) シンポジウム (2007/6/16: 東京工業大学)

- 午前: テーマ: 「高等教育における教育実践の成果をどのように共有し活用するか」
午後: テーマ: 「新しい教育課題に教育工学は何ができるか～現代的問題に挑む～」

b) 研修講座

- ①第56回研修講座 夏の合宿研究会 (2007/7/28-29: 富山大学黒田講堂)
テーマ: 「次世代の教育のICT環境と学力向上を考える」
- ②第57回研修講座 冬の合宿研究会 (2008/2/22-23: 兵庫教育大学神戸サテライト)
テーマ: 「授業評価・授業改善におけるテキストマイニングの有効性を探る！」
- ③第58回研修講座 産学協同セミナー (2008/2/29: 内田洋行東京ショールーム)
テーマ: 「教育工学における産学協同プロジェクトの在り方」

(6) 学会情報の提供 (810,219円)

学会ホームページによって, 学会情報を提供した。

(7) 国際連携の促進 (537,700円)

海外の学協会との連携を促進した。

- a) 第2回日中教育工学研究推進フォーラム開催 (2007/6/19-20: 関西大学)
- b) 韓国教育工学会招聘 (2007/9/24: 早稲田大学)

(8) 学会の情報化対応システムの開発 (1,741,399円)

学会の会計処理システムなどを開発し, 会員へのサービス向上を図った。

(9) 2007年度年度末(2008/3/31)会員総数: 2,467名

内訳: 正会員 1,925名, 准会員 224名, 学生会員 291名, 名誉会員 2名, 維持会員 25社

2007年度 収支決算（自2007. 4. 1～至2008. 3. 31）

1. 収入の部

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
1. 会費（①～⑤の合計）	19,955,940	18,035,000	1,920,940
①正会員会費	15,383,500	13,950,000	1,433,500
②准会員会費	902,100	550,000	352,100
③学生会員会費	1,442,840	1,485,000	△ 42,160
④維持会員会費	1,400,000	1,250,000	150,000
⑤過年度分	827,500	800,000	27,500
2. 入会金	304,000	300,000	4,000
3. 事業収入（①～④の合計）	6,380,559	5,600,000	780,559
①論文別刷代	4,503,000	4,000,000	503,000
②学会誌販売	1,287,597	1,300,000	△ 12,403
③研究会収支差	0	300,000	△ 300,000
④全国大会収支差	589,962	0	589,962
4. 雑収入	220,141	200,000	20,141
5. 積立金取り崩し	0	0	0
6. 前年度からの繰越	2,857,913	2,857,913	0
収 入 合 計	29,718,553	26,992,913	2,725,640

2. 支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
1. 管理費（①～⑧の合計）	10,360,824	11,550,000	△ 1,189,176
①役員等会議費	164,313	300,000	△ 135,687
②事務局費	1,166,896	1,000,000	166,896
③旅費交通費	1,771,320	2,000,000	△ 228,680
④通信運搬費	3,288,461	3,500,000	△ 211,539
⑤消耗品費	834,822	700,000	134,822
⑥複写経費	18,974	300,000	△ 281,026
⑦諸謝金	2,935,174	3,500,000	△ 564,826
⑧雑費	180,864	250,000	△ 69,136
2. 事業費（①～⑤の合計）	13,810,840	14,000,000	△ 189,160
①機関紙等	10,237,522	10,500,000	△ 262,478
a. 論文誌	8,885,626	9,000,000	△ 114,374
b. ニューズレター	1,351,896	1,500,000	△ 148,104
②ホームページ管理費	810,219	700,000	110,219
③研究会（収支差）	180,503	0	180,503
④企画委員会	303,497	800,000	△ 496,503
⑤国際連携の促進	537,700	500,000	37,700
⑥情報化対応システム開発	1,741,399	1,500,000	241,399
3. 予備費	0	1,442,913	△ 1,442,913
4. 積立金（学会改革）	5,000,000	0	5,000,000
5. 次年度繰越金	546,889	0	546,889
支 出 合 計	29,718,553	26,992,913	2,725,640

（注）2008年度以降の前納金額 年会費：6,891,000円、研究報告集代：1,151,500円

第2号議案 2008年度事業計画案及び収支予算案

2008年度に実施する事業計画は次のとおりである。(事業費14,300,000円)

(1) 機関誌等 (10,500,000円)

1. 「日本教育工学会論文誌」第32巻1号～4号, 増刊号 (ショートレター号), 及び英文誌第31巻1・2号 (合併号) を会員に配付する。(9,000,000円)
2. 「ニューズレター」No. 157～No. 163を刊行し, 会員に配付する。(1,500,000円)

(2) 総会

日本教育工学会第24回通常総会を, 東京工業大学で開催 (2008/6/21) する。

(3) 大会

日本教育工学会第24回全国大会を, 上越教育大学で開催 (2008/10/11-13) する。

また, 「大会講演論文集」を刊行し, 申込者に配布する。

(4) 研究会委員会 (300,000円)

研究会を年5回開催し, 「日本教育工学会研究報告集」JSET08-2～JSET08-5, JSET09-1を申込者に配布する。

- ① 「質的研究と教育工学」研究会 (2008/5/17: 岩手大学)
- ② 「言語力を育む授業づくり」研究会 (2008/7/5: 金沢大学)
- ③ 「学校図書館と情報教育」研究会 (2008/9/6: 玉川大学)
- ④ 「教育システム・教材開発のためのICT活用」研究会 (2008/12/20: いわき明星大学)
- ⑤ 「ICTの教育活用と授業設計」研究会 (2009/3/7: 椋山女学園大学)

(5) 企画委員会 (800,000円)

企画委員会を開催し, 次のシンポジウム及び研修講座 (合宿研究会) を開催する。

a) シンポジウム (2008/6/21: 東京工業大学)

午前: 「学力向上と学校におけるICT活用の効果」

午後: 「我が国の高等教育の行方と教育工学～経営, 経済, 社会的視点を活かして～」

b) 研修講座

- ① 第59回研修講座 夏の合宿研究会 (2008/8/9-10: 秋田大学)
- ② 第60回研修講座 産学協同セミナー (期日未定)
- ③ 第61回研修講座 冬の合宿研究会 (期日未定)

(6) 学会ホームページの更新 (900,000円)

会員だけでなく一般の人に学会情報を提供するために, 学会のホームページを常時更新する。

(7) 国際連携の促進 (300,000円)

海外の学協会との連携を促進する。

(8) 学会の情報化対応システム開発 (1,500,000円)

学会の会計処理システムなどの開発をおこない, 会員へのサービス向上を図る。

2008年度 6月シンポジウムのご案内（最終報）

日本教育工学会2008年度の6月シンポジウムを学会総会の前後に以下のとおり行います。是非ご参加下さい。

日時：2008年6月21日（土）10:00－16:00（受付9:30より）

会場：東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館 デジタル多目的ホール

東京都目黒区大岡山2-12-1（東急目黒線・大井町線 大岡山駅下車 徒歩1分）

URL <http://www.titech.ac.jp/>

参加：参加希望者は、当日受付にて直接お申し込み下さい（参加費として資料代500円をいただきます）。

午前の部：10:00－12:00 研究報告及びディスカッション（主として学会員向け。ただし非会員の方の参加も可能）

■**テーマ**「科研費による研究プロジェクト『学力向上と学校におけるICT活用の効果に関する総合的・実証的研究』の研究成果を中心として」

■**ねらい**

2006, 2007年度の2年間にわたって行われた上記プロジェクトの活動を中心として、主な内容を報告するとともに、いくつかの観点について討論を行います。特に教育現場を対象にした実践的研究の計画やそこから見えてくる成果の解釈について、会員とともに検討したいと考えます。

■**コーディネータ・司会**（以下敬称略）

永野和男（聖心女子大学）

■**登壇者**

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1.大規模調査から読み取れる傾向と問題 | 木原俊行（大阪教育大学） |
| 2.長期的・日常的なICT活用授業の傾向分析と学力向上への影響 | 豊田充崇（和歌山大学） |
| 3.教師の力量とICT活用及びその分析結果 | 堀田龍也（メディア教育開発センター） |
| 指定討論者 | 中山 実（東京工業大学） |

午後の部：14:00－16:00 シンポジウム（会員及び一般参加者向け）

■**テーマ**「我が国の高等教育の行方と教育工学～経営，経済，社会的視点を活かして～」

■**ねらい**

21世紀は「知識基盤社会」(knowledge-based society)の時代であり、高等教育は人間形成、社会・経済・文化の発展、国の国際競争における戦略の上で極めて重要なものです。しかし現状では、高等教育を社会のニーズへ応えるものへ変革できていません。本シンポジウムでは、高等教育の改革について、大学経営の立場、大学の外からの立場で関わっている方々をお招きし、それぞれの立場の視点と教育工学との接点を探ることで、議論を深めます。

■**司会**

大久保 昇（株式会社内田洋行）

■**登壇者**

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 基調講演「教育工学の立場から高等教育を考える」 | 西之園晴夫（特定非営利活動法人学習開発研究所） |
| 1.大学経営の立場から | 濱名 篤（関西国際大学） |
| 2.大学の外からの立場から | 三上直行（株式会社東洋経済新報社） |

2008年度 夏の合宿研究会のご案内（第一報）

テーマ 「教育における“技術”を考える（仮）」

日時：2008年8月9日（土）13:30～ 10日（日）12:00

場所：秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（手形キャンパス）

（JR秋田駅より約1.9km。駅西口より秋田中央交通路線バスが利用できます）

<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/09access/0901.html>

対象：テーマに関心を持つ研究者及び学校教育に携わる実践者の方

■**日程** 調整中

■**費用と宿泊**

参加費：2,000円（資料代及び会場費として）、情報交換会費：6,000円（予定）

宿泊：各自で手配をお願い申し上げます。情報交換会の会場はJR秋田駅前を予定していますので、駅周辺のホテルをおすすめします。時節柄、混雑することが予想されますので、早めの手配をお願いします。

■お問い合わせ先 夏の合宿担当 姫野完治（秋田大学） hideyuki@mx.ibaraki.ac.jp
参加申し込み（締切：7月25日）や詳細は、6月以降に学会Webサイト等でご確認ください。

研究会参加のお誘い

1. 研究会への参加方法

日本教育工学会では、研究会を定期的に行っています。このところ、発表件数は30から50件ほど、参加者数は100名以上と盛会で、多くの建設的な議論がなされています。

研究会への参加は無料です。事前予約は不要ですので、直接会場にお越し下さい。学会員でない方でも参加・発表できます。研究報告集は、年間予約者については会場に1冊渡されます。年間予約をしていない方は、1冊1,000円で購入できます。

研究会での発表申込は、研究会委員会のWebサイト（<http://www.jset.gr.jp/study-group/>）から行います。発表申込は研究会の約3ヶ月前から約2ヶ月前までとなっています。発表申込した方には、報告集原稿の執筆案内が送られます。報告集原稿の提出締切は研究会の約1ヶ月前です。具体的な日程は研究会委員会のWebサイトでご確認ください。

2. 研究会で発表するメリット

研究会発表者のメリットとしては、以下の3点が挙げられます。

- (1) 報告集原稿のページ数は4,6,8ページとなっており、全国大会よりページ数が多い。
- (2) 発表時間は20分以内、質疑応答を合わせて25分となっており、全国大会より発表時間が長い。
- (3) 発表の機会が年5回あり、また報告集原稿締切が研究会の約1ヶ月前であり、最新の研究成果をタイムリーに発表しやすい。

その他、日本教育工学会では、研究奨励賞の選考プロセスにおいて、研究会での発表件数が考慮されています。また、研究会で発表して会場から研究に対する意見等をもらって修正し、日本教育工学会論文誌に査読論文として投稿をしている例も数多くあります。

3. 研究会で発表する方へのお願い

研究会での発表件数が増えていますことから、研究会委員会では報告集原稿の原稿見本（テンプレート）を作りました。研究会の発表募集案内のページからダウンロードできますし、研究会発表申込者には執筆依頼時に電子メールで送付しております。

研究会報告集は、学会として発行するものであり、原稿見本を著しく外れた原稿については掲載することができません。研究会委員会では、報告集の編集幹事が毎回時間をかけてチェックをしておりますが、原稿見本を著しく外れた一部の方々の原稿のためにたいへん多くの労力が割かれております。報告集原稿執筆の際には、この原稿見本にしたがってお書きいただきますようお願いいたします。また、報告集原稿締切を過ぎて提出いただけない場合は、上記のチェックをする時間が十分に取れませんので、発表をキャンセルさせていただくことがありますのでご理解下さい。

4. 研究報告集の年間予約のお誘い

研究報告集は年間予約することができます。年間購読者には、当日会場に研究報告集をお渡ししています。また、研究会に参加できなかった場合には、研究会終了後に郵送されますのでたいへん便利です。研究報告集の年間予約は3,500円です。学会の会員専用ページから申し込むことができます。研究会ごとに研究報告集を購入すると1冊1,000円ですので、年間予約の方がお得となります。

最新の情報は研究会委員会のWebサイト（<http://www.jset.gr.jp/study-group/>）でご確認ください。たくさんのご発表・ご参加をお待ちしております。

研究会委員長 堀田龍也（メディア教育開発センター）

■正会員 29名

山口 正蔵 (京都文教中学・高等学校)
村山 健二
中畷 康二 (大阪学院大学)
森 和哉 (株式会社ユーキャン)
滑川 邦夫
吉武 芳彦
片野 俊行 (株式会社 TRADECREATE)
久木 章江 (文化女子大学)
島田 英昭 (信州大学)
大西 景子 (社会貢献推進室)
岡野 秀夫 (自営業)
高橋 亜紀子 (宮城教育大学)
加部 一彦
(恩賜財団母子愛育会愛育病院)
古田 壮宏 (東京理科大学)
藤村 知子 (東京外国語大学)
河野 麻沙美 (東京大学大学院)
高尾 美沙子
長田 在代 (長尾小学校)
松村 敦 (筑波大学大学院)
村上 豊優 (熊本県立教育センター)
有本 昌弘 (東北大学大学院)

早坂 重行 (宮城県仙台第二高等学校)
隅田 詠吉 (学校法人津田学園)
楡井 正弥 (桐生市立北中学校)
長谷川 伸 (関西大学)
東郷 多津
(京都ノートルダム女子大学)
有馬 道久 (香川大学)
伊豆原 久美子
蔡 東生 (筑波大学大学院)

■学生会員 18名

望月 正哉 (日本大学大学院)
大山 努 (上越教育大学大学院)
松村 健児 (福井大学大学院)
亀石 由貴 (早稲田大学大学院)
成田 康修 (総合研究大学院大学)
多賀 万里子 (熊本大学大学院)
福島 誠也 (熊本大学大学院)
井戸 康智 (岐阜大学大学院)
大城 明緒 (東京大学大学院)
山添 花恵 (早稲田大学大学院)
槻舘 尚武 (国際基督教大学大学院)
木内 泰 (筑波大学大学院)

高橋 信行 (東亜大学通信制大学院)
菊池 典子 (熊本大学大学院)
一色 玲子 (広島大学大学院)
佐藤 雄大 (東京工業大学大学院)
荒 優 (東京工業大学大学院)
安住 陽子 (東北大学大学院)

■准会員 11名

加地 雄一
河内 尚三
宮道 力
佐藤 博 (福岡県立香椎工業高等学校)
馬締 俊佑
(英国国立ウェールズ大学大学院)
神原 裕子 (目白大学)
本多 博 (長崎県教育センター)
植田 恭子 (大阪市立昭和中学校)
菊政 勲 (山口大学)
古井 和子
菊田 美里
(株式会社日立総合経営研修所)

学会日誌

2008年

6月21日(土) 第24回通常総会, シンポジウム, 理事・評議員会 (東京工業大学)
7月 5日(土) 研究会「言語力を育む授業づくり」(金沢大学)
9月 6日(土) 研究会「学校図書館と情報教育」(玉川大学)
10月11日(土)～13日(月) 第24回全国大会 (上越教育大学), 理事・評議員会
12月20日(土) 研究会「教育システム・教材開発のためのICT活用」(いわき明星大学)

お問い合わせ先 (Eメールアドレス)

- ◆ 論文投稿に関するお問い合わせ 編集委員会 (editor@jset.gr.jp)
- ◆ 研究会の開催についてのお問い合わせ 研究会事務局 (jset-branch@nime.ac.jp)
- ◆ 全国大会の開催についてのお問い合わせ 大会企画委員会 (taikai2008@jset.gr.jp)
- ◆ ニュースレター編集に関するお問い合わせ 広報委員会 (kouhou@jset.gr.jp)
- ◆ その他のお問い合わせ 学会事務局 (office@jset.gr.jp)

広報委員会

編集長:清水康敬, 広報委員長:赤倉貴子, 広報副委員長:宮田 仁,
委員:矢野米雄, 伊藤剛和, 香山瑞恵, 神月紀輔, 皆川 武, 三輪吉和 E-mail:kouhou@jset.gr.jp

日本教育工学会ニュースレター No.158

2008年06月01日

発行人 赤堀 侃司

発行所 日本教育工学会事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル

TEL / FAX: 03-5740-9505 E-mail: office@jset.gr.jp

http://www.jset.gr.jp/

郵便振替 00180-2-539055